2024 年度

湘南白百合学園中学校

入学試験問題

国　　語

帰国生入試　45 分

受験番号		氏名	

○受験番号・氏名は解答用紙にも書くこと。

一　次の――線部の漢字は読みをひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

①結束力の強いクラス。
②十五夜に団子を供える。
③平等に扱う。
④失礼な態度をとる。
⑤勇ましい姿に感動する。
⑥医学をオサめる。
⑦ヤサしい問題と難しい問題。
⑧青色の絵の具に緑がマじる。
⑨逆転勝利にコウフンする。
⑩参加をジタイする。

二　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

そして、人はそろえたがる

私たち人間の世界は、線を引き区別をし、ものさしと数字で比べることで作られた。

こうして、私たちは発達をしてきたのだ。

一方、自然界の生物はばらつきたがる。均一にそろってしまうと、全滅してしまう恐れがあるからだ。答えのないものには、たくさんの選択肢を用意しておきたい。それが、生物の戦略である。だから、生物は努めてそろわない。

ロボットのように、同じものばかりが作られるということはない。

野菜は植物だから、大きいダイコンや小さいダイコンができる。太いダイコンも細いダイコンもある。長いダイコンも短いダイコンもある。

しかし、人間の世界ではそれでは不便である。

だから人間は、ダイコンの大きさをそろえようとする。

そして、同じ大きさのダイコンを作り、同じ大きさのダイコンを箱詰めして、同じ値段をつけて野菜売り場に並べるのである。

①生物は多様性を求めてばらつきたがるのに、人間は均一を求めてそろえたがるのだ。

もっとも、野菜は人間が守ってくれるから全滅するようなことは起きにくい。

野菜にとっては、人間が求めるものが「答え」である。

そのため、人間の品種改良や栽培技術にしたがって、均一にそろうような性質を発達させている。

野菜たちは、それでいい。

しかし、他にも人間の作りだした世界の枠組みに合わせて暮らしている生物がいる。

その一種が人間である。

人間も生物だから、ばらつきたがる。そして、個性もある。

しかし、人間の脳はそろえたがる。

多様性が大事だ、個性が大切だとわかっているつもりでも、本当は個性なんかない方が理解しやすいと脳は感じている。

だから、人間の個性はやっかいなのだ。

遺伝子には逆らえない

個性はどのように生み出されるのだろうか。
この個性を生み出すものが遺伝子である。
遺伝子は、両親から授かるものだ。
子どもと親とが寝相がそっくりなことがある。親が教えてもいないのに同じようなしぐさを見せることがある。
自分が大好きだったものが、「死んだおじいちゃんも好きだった」と言われて、驚くこともある。
自分固有のものだと思っていても、やはり遺伝子は祖先から引き継いだものなのだ。

運動会にそなえて一生懸命練習してもいつもビリな人と、何の練習もしていないのに、もともと走るのが速い人がいる。
暗記しようと苦労しても、ぜんぜん［1］人と、「知らない間に［2］」と、*1のたまう人がいる。
ほとんどが遺伝子のなせる業だ。
遺伝子には逆らえない。
私たちが悪いのではない。すべては祖先から受け継いだ遺伝子が悪いのだ。
とりあえずは、すべて遺伝子のせいにしてしまおう。
［3］、足の遅い遺伝子なのに、それに逆らうことはやめにしよう。
暗記できない遺伝子なのに、無理に逆らうこともやめにしよう。
全部、遺伝子が悪いのだ。

それでも努力は無駄ではない

それでは、すべての努力は無意味なのだろうか。

もちろんそうではない。

遺伝子とは何だろう。
それは冷蔵庫の中身のようなものだ。
冷蔵庫の中にキャベツが入っている人もいる。入っていない人もいる。
冷蔵庫が詰まっている人もいるし、冷蔵庫に少ししか入っていない人もいる。
しかし、問題なのは冷蔵庫の中身ではない。
それで、どんな料理を作るかだ。

冷蔵庫にキャベツが入っていなくても、ケーキを作るのであれば、何の問題もない。カレーライスだって作ることができる。お好み焼きを作りたいと強く望めば、キャベツ抜きではお好み焼きを作れずに、悩み苦しむかもしれない。ただそれはお好み焼きを作ろうとするのが悪いのだ。カレーライスを作って、デザートにケーキを作れば良いだけの話だ。

もちろん、冷蔵庫の中にたくさん物が入っていれば良いというものではない。たくさん入っていれば何でも作ることができるかもしれないが、料理を作るときに必要な食材は、限られているからだ。たくさん入っていると、何を作れば良いか悩んでしまうかもしれないし、使わない食材も多い。問題なのは、食材の量ではないのだ。

冷蔵庫の中身が決まっているのであれば、悩んでも仕方がないような気がするかも知れない。悩み苦しんで努力をしてみても、冷蔵庫の中身が増えるわけではないからだ。

しかし、そうではない。

じつは冷蔵庫の中に何が入っているかは、誰にもわからない。

冷蔵庫を開けて、料理を作ってみないとわからないのだ。

レシピを見て材料をそろえてみたときに、食材が足りないことに気がつくかもしれない。料理を作り始めてから、材料が足りないことに気がつくかもしれない。

しかし、料理を作り始めないと、どんな食材があるのかわからない。4、色々な料理をとりあえず、作ってみる必要があるのだ。

学校でたくさんの勉強やたくさんの経験をしなければならない理由が、まさにそこにある。

自分の冷蔵庫には何が入っているのか。何ができて、何ができないのかを見極める、それがさまざまなことを勉強する理由なのである。

学校で習うことは好きなことも嫌いなこともある。簡単にできる得意なことも、努力してもなかなかできない苦手なこともある。それでも、やってみなければ、わからない。勉強するということは、冷蔵庫の中身を見てみるということなのだ。

自分の遺伝子との付き合い方

それでは、苦手だとわかった勉強については、やめてしまって良いものだろうか。

5、勉強そのものが苦手ということもある。もし、それに気がついたとしたら、もう勉強しなくても良いのだろうか。

もちろん、そうではない。

「勉強が苦手だ」と気がつくことは良いことだ。

中には勉強が好きな人もいる。短い勉強時間でも、理解ができてしまう人もいる。

まず、大切なことは、勉強が苦手だと思ったら、勉強が好きな人とはまともに勝負をしないことだ。

ただ、残念ながら、現代では入学試験があって、勉強が好きな人と勝負しなければならないことがある。それはルールだから、仕方がない。勉強が好きな人と勉強時間を競ったり、短い勉強時間でわかってしまう人をうらやむことはやめて、スポーツと同じゲームだと割り切ることだ。スポーツは、弱いチームが

負けるとは限らないところに面白さがある。弱いチームには弱いチームの戦い方があるのだ。

苦手科目を勉強しなければならない本当の理由は、入学試験に合格するためではない。

②私たちは料理を作るのだ。

そのために、冷蔵庫の中にたくさんの食材を詰めて、この世に送り出されたのだ。

しかし、冷蔵庫の中に入っていないものもある。

たとえば、調味料がそうだ。砂糖や塩やコショウなどの調味料は、もしかするとテーブルの上に置いてあるかもしれない。

そんな冷蔵庫の外にあるものは、冷蔵庫の中をいくら探しても見つからない。

たとえば、教科書に書いてある知識は、これまで人類がさまざまな研究や体験をして、集めてきたものだ。生まれたばかりの赤ちゃんは、漢字も知らなければ、何の英単語も数式も知らない。つまり、教科書に書いてあることは、冷蔵庫の外にあるものばかりなのだ。

料理をするときには、調味料がものを言う。

砂糖や塩しかないよりも、醤油やみりんがあれば、味が深まる。スパイスやハーブなどがあれば、料理のレベルはグッと上がるだろう。粉チーズや*2ナンプラーなどは、どうだろう。使わないかもしれないが、料理によっては必要な調味料だ。

もちろん、たくさん集めても、使わない調味料もあることだろう。

勉強も同じだ。たくさん勉強しても、使わないことも多い。

しかし、6調味料はたくさん集めておいた方が良い。

手元に集めなくても、調味料の種類と調味料がある場所は知っておいた方がいい。手元に粉チーズがなくても、机の上に粉チーズがあることを知っていれば、また、探しに行くことができる。

勉強も同じで、そのときはわからなくても、後から勉強してみようと思うこともある。

しかし、机の上に粉チーズがあることを知っている人は、何も知らない人よりも早く粉チーズを見つけることができる。

勉強するということは、そういうことなのだ。

（稲垣栄洋『ナマケモノは、なぜ怠けるのか？　生き物の個性と進化のふしぎ』）

（注）

＊1　のたまう…「言う」の尊敬語。おっしゃる。

＊2　ナンプラー…タイ料理に用いる魚醤油。

問一　――線部①「生物は多様性を求めてばらつきたがるのに、人間は均一を求めてそろえたがるのだ」とありますが、それはなぜですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　生物は全滅をさけるために多くの選択肢を持とうとするのに、人間は世界の枠組みに合わせて暮らすので、全滅の危険がないと感じているから。

イ　生物は全滅をさけるために多くの選択肢を持とうとするのに、人間は均一にする栽培の技術を発展させる能力を発揮したいと感じているから。

ウ　生物は全滅をさけるために多くの選択肢を持とうとするのに、人間は世界を均一にしてとらえた方が便利で扱いやすく、また理解しやすいと感じているから。

エ　生物は全滅をさけるために多くの選択肢を持とうとするのに、人間だけは脳の働きや遺伝子の働きによって均一にとらえることを美徳だと感じているから。

問二　［1］・［2］にあてはまる言葉の組み合わせとして、最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　1　話せない　・　2　話せちゃう
イ　1　話せちゃう　・　2　話せない
ウ　1　覚えちゃう　・　2　覚えられない
エ　1　覚えられない　・　2　覚えちゃう

問三　［3］～［6］にあてはまるものの組み合わせとして、最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　3　そして　4　だから　5　そもそも　6　それでも
イ　3　そもそも　4　ときに　5　まず　6　やはり
ウ　3　また　4　だから　5　つまり　6　それでも
エ　3　そして　4　つまり　5　そもそも　6　ときに

問四　――線部②「私たちは料理を作るのだ。そのために、冷蔵庫の中にたくさんの食材を詰めて、この世に送り出されたのだ」とありますが、あなたはこれから始まる中学校生活でどんな「料理」を作りたいと思いますか。次の（注）にしたがい、「料理」、「冷蔵庫」の二語を必ず用いて、六〇〇～八〇〇字以内で書きなさい。

（注）
①解答用紙は縦書きで、一行目から始めること。
②表記は原稿（げんこう）用紙の用い方にしたがうこと。
③文章全体は適切な段落で構成し、わかりやすく書くこと。

（おわり）

2024年度

湘南白百合学園中学校　帰国生入試【国語】

受験番号A方式《　　》・受験番号B方式《　　》

氏名【　　】

No.1

一	
①	⑥
②	⑦
える	しい
③	⑧
④	⑨
⑤	⑩
ましい	

二
問一
問二
問三

一	
①	⑥
	める
②	⑦
える	しい
③	⑧
	じる
④	⑨
⑤	⑩
ましい	

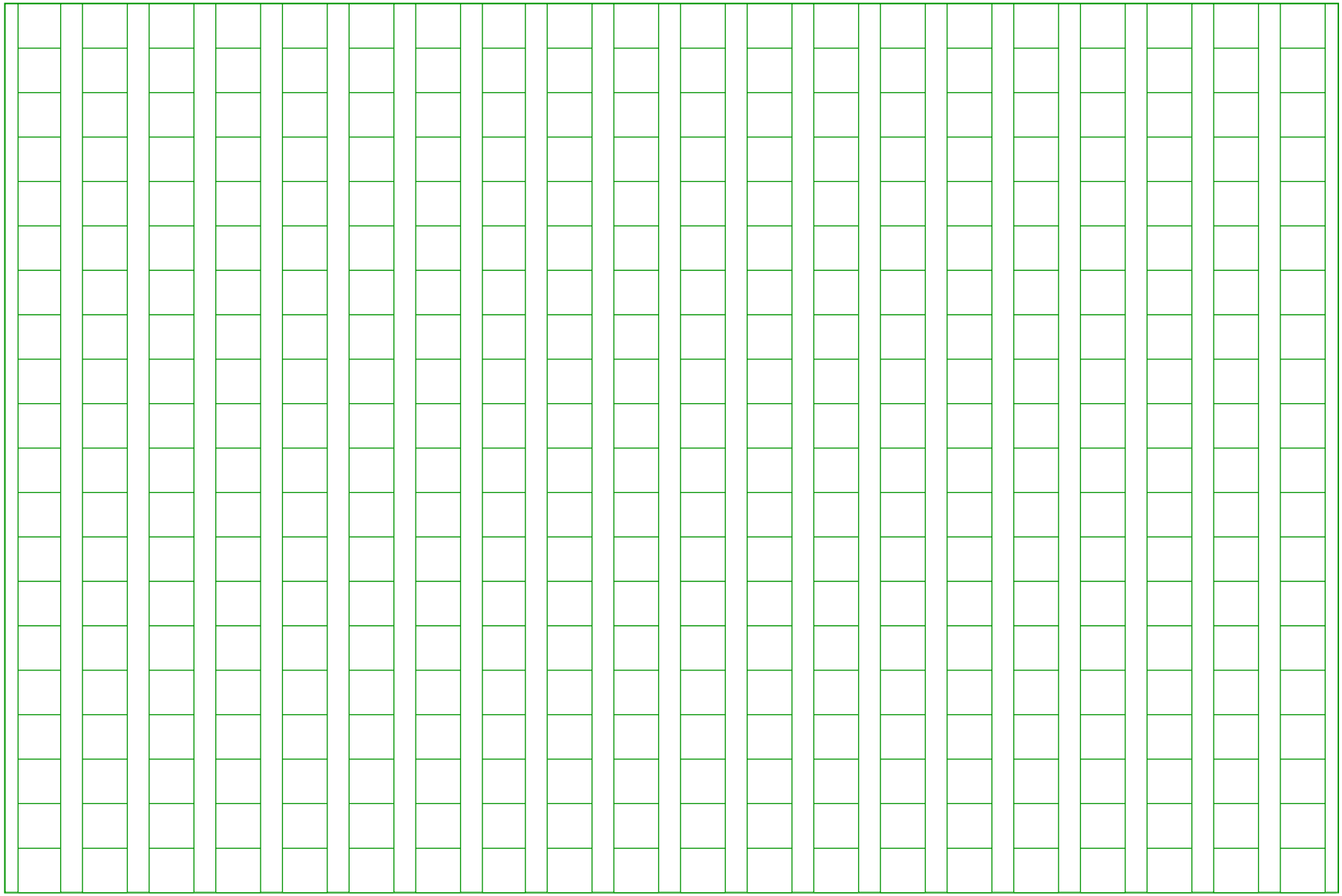
問四

2024年度　湘南白百合学園中学校　帰国生入試

受験番号A方式《　　》・受験番号B方式《　　》

氏名【　　】

問四



800字　　600字